

## 【事業実績】新時代のミュージアムによる次世代と地域文化をつなぐ

### プロジェクト～文化庁移転の地から「京都式課題解決モデル」を全国へ～

ミュージアムがハブとなり、学校・大学・地域住民といった多様な主体と共働し、文化を活用した地域活性化を図るため、地域課題解決モデルの“実践”、その結果をもとに他施設へ“提案”を行い、課題解決のための広域ネットワークを構築し、「京都モデル」を全国へ“発信”することを目的として以下の取組を実践した。

#### 1 次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト（つなプロ）モデル構築事業「戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～（向日モデル）」

ミュージアムを核とした地域課題解決モデルの“実践”として、次世代を担う子どもたちが自らの地域の文化資源を巡り、愛着を深め、地域文化の継承を図ることを目的に、京都府向日市の子どもたち17名を対象とした学習・体験ツアー等を実施し、発見した地域の魅力を「AtoZ」という手法を用いて冊子にまとめるとともに、子どもたちが学び感じたことを地域住民に向け発表した。

##### ○「つなプロ向日モデル」の実践（向日市文化資料館）

事業名：戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～（向日モデル）

参加者：向日市在住・在学の小学4年生～中学2年生 17人（公募）

特徴：地元団体とミュージアムが共働し次世代向けプログラム（全10回）を開発・実施

事業内容：向日市の地域住民に大切に語り継がれている「西岡衆」について学び、特色ある地域の歴史への理解と愛着を深める契機とする。

実施日時	内容
8月27日（日）	ガイダンス/武士の生活を体験しよう！（“武士の通信”編）
9月10日（日）	武士の装備品を知ろう！（“かぶと作り”編）
9月24日（日）	武士の生活を体験しよう！その2（“茶の湯と連歌”編）
10月1日（日）	武士の住まいを見に行こう！（“いざ、国衆の城へ”編）
11月5日（日）	武士の戦いを学ぼう！（“いくさ”編）
12月10日（日）	武士の生活を体験しよう！その3（武士の移動“乗馬体験”編）
12月17日（日）	武士の生活を体験しよう！その4（“寄合”編）
12月24日（日）	これまでの振り返りと交流
1月14日（日）	活動のまとめ
2月4日（日）	学習発表会

（書状を学ぶ）



（勝竜寺城見学）



（甲冑・乗馬体験）



（寄合体験）



（学習発表会）



（成果物 AtoZ 冊子）



## 参加者アンケート結果

- ・体験の満足度：94%が「満足」、6%が「だいたい満足」
- ・参加前後での地域に対する思い：100%が「変わった」
- ・またやってみたいか：87%が「やってみたい」、13%が「無回答」

### 参加者の声

- ・馬に乗ってみて、騎馬武者の視線をはじめて知った。
- ・当時と同じようなことを体験したり、今も残っている城跡を見に行ったりできて西岡衆を想像できた。
- ・疑問や発見が増えた分だけもっとふるさとについて知りたいと思った。
- ・今まで歴史はわからなかったけど、つなプロに参加して歴史や文化がよくわかった
- ・昔の地元の歴史を知らなかったけど、こういう歴史があるから今があると感ずることができた。

### 子どもたちの取組発表を聞いた地域の方の声

- ・子どもたちがいろいろな体験をとおして段々と仲良くチームワークが育っていく様子が伝わって、とても感動した。
- ・つなプロは歴史を学ぶだけでなく子どもたちが意見を交わしたり、発表の資料作りまでしたりするのがとても良い。
- ・地域の歴史があって現在がある、歴史を通じて将来を考えられたことは、子どもたちの一生の財産
- ・子どもの体験プログラムとして最良のモデルではないか、繰り返し続けていってほしい。大人も取り組んでみたい。

## 2 課題解決プロセスの見える化及びノウハウの共有化に向けたプログラム開発・普及

モデルの“提案・発信”の取組として、実践ツール開発に加え、ノウハウの共有化に向けた動画制作を行い、本事業のこれまでの成果及び今年度実施の特徴的な向日モデルを広く発信

(実践ツール・ノウハウの共有化に向けた普及・対談)

